

	自律・友愛・創造 折 尾 中 2026年度	北九州市立折尾中学校 学校通信 令和8年 8月26日 No. 11 発行責任者 校長 牧島 伸司 学校所在地 八幡西区中須一丁目3番1号 TEL 093-601-0153 FAX 601-1090
---	--	---

【今日から前期後半がスタート！】

39日間の夏休みが終わりました。過ぎてしまえばあっという間に感じているのではないのでしょうか。今年の夏も暑さが厳しく、体調維持が大変だったと思います。夏休みの前に立てた目標は達成できましたか？それぞれ成果と課題があるかと思いますが、前期後半の学校生活を充実させるために、心身ともに切り替えてスタートしましょう。



【原点に戻り、基礎基本を大切に使う2学期を！】

夏休み前半は、部活動の夏季大会やコンクールなどで個人や団体での活動に汗を流し、感動の時を共有することができたのではないのでしょうか。また、学習面では夏休み全体を通して、計画的な復習や宿題・課題の仕上げにも全力で取り組んだことと思います。

さて、前期後半は、あらためて「原点に戻り、基礎基本を大切に！」を意識することで、学校生活に取り組んでほしいと思います。自分を最も成長させてくれる時期でもあります。一人一人が心身ともに輝いて大きく成長していくためにも、毎日の一時間一時間の授業や様々な行事、そして部活動など、何事にも一所懸命に取り組むことがポイントです。特に忙しく、大変と言われる時だからこそ、今一度「原点に戻り、基礎基本を大切に使う」ことが大切なのです。1日24時間をどのように生活するかを賢く計画し、いろいろな課題や行事への取組を確実にやり遂げていきましょう。

【3年生は、特に大切な時期！】

3年生は、中学校生活の中でも最も重要な時期になります。自分の進路を見据え、それに向かって邁進していかなければなりません。「目的なくして計画なし」「計画なくして努力なし」と言われます。心に決めたことを必ず成し遂げようと実行すること！それが自分自身をより強くするとともに積極的な生き方につながるのだと思います。

学習面においても、今一度基礎基本を大切に使う学習を心がけてください。一步一步の着実な積み重ねが、結局は学力をつける早道となります。頑張れ、3年生！



【全校集会で防災についての話をしました。】

まず始めに、7月28日、午後4時27分頃、熊本地方を震源とする震度7の地震が発生し、災害関連死を含め38名の方が亡くなるなど、甚大な被害に見舞われました。被災された方々の艱難辛苦はまだまだ続いています。また、8月13日から、千葉県を中心とした地域を襲った記録的な短時間の大雨で、3900棟あまりの住宅が浸水し、2700台もの車が水没するなどの被害が発生し、13名の方が亡くなりました。この場をお借りしまして、不幸にして亡くなられた方々と、そのご遺族に対し、心から哀悼の意を表すとともに、災害で多くの被害を受けた方々に、お見舞い申し上げたいと思います。

令和5年の九州北部豪雨や令和6年の石川県能登半島地震同様、この災害が私たちに教えてくれたものは、計り知れないものがあります。防災に対する意識をより一層高めることを含め、今、私たちに何ができるのか。このことは、私たち一人一人が真剣に考え、取り組まなければならない大きな課題であると思います。困難に決して目をそらさず一人一人が中学生として、被災された方々の立場に立って「何事にも一生懸命に頑張る姿を見せる」このことが、あなたたちにできる事ではないのでしょうか。【8月26日・シェイクアウト訓練を実施しました。】